

政策名	小山町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画（案）
担当部署から	<p>小山町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画（案）について、下記のとおり、パブリックコメント制度を実施したところ、2件の御意見が寄せられました。</p> <p>お寄せいただいた御意見の概要と御意見に対する町の考え方について、別添のとおりまとめましたので公表します。</p> <p>皆様の御協力に感謝申し上げますとともに、今後とも小山町行政全般に御理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>
意見提出期間	令和2年12月21日（月）から令和3年1月19日（火）まで
意見提出実施方法	直接持参、郵送、ファクシミリ、電子メール
意見募集結果	<p>1 意見提出数： 2件（意見総数2件）</p> <p>2 意見に対する考え方：別紙のとおり</p>
担当部署 （問い合わせ先）	小山町住民福祉部介護長寿課 電話 0550-76-6669
添付ファイル	<ul style="list-style-type: none"><li>・集計結果（様式第3号の2）</li><li>・小山町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画（案）への御意見と町の考え方（様式第3号の3）</li></ul>
政策の施行について	<ul style="list-style-type: none"><li>・本計画は、令和3年4月1日施行を予定しています。</li></ul>

## 様式第3号の2

小山町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画（案）への意見募集の結果について

### 集計結果

#### 1 町民等の区分

区分	意見提出人数	意見数
町内に住所を有する者	0人	0件
町内に事務所又は事業所を有する個人及び法人その他団体	1人	1件
町内に存する事務所又は事業所に勤務する者	1人	1件
町内の学校に在学する者	0人	0件
町に対して納税義務を有するもの	0人	0件
その他パブリックコメント制度の対象となる案件について利害関係を有するもの	0人	0件

#### 2 意見提出方法

区分	意見提出人数	意見数
直接持参	0人	0件
郵送	0人	0件
ファクシミリ	0人	0件
電子メール	2人	2件

#### 3 意見の反映について

区分	意見数
政策案に反映したもの	2件
既に反映済のもの	0件
今後の参考とするもの	0件
反映できないもの	0件
その他（質問等）	0件

#### 4 [御意見と町の考え方はこちらから（クリックすると様式第3号の3へ）](#)

#### 5 パブリックコメント制度実施時の趣旨

政策の趣旨	<p>平成30年度から3年間を計画期間とする「小山町高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画」が令和2年度末に期間満了となります。</p> <p>現計画の成果や本町の状況、高齢者の現状、介護・福祉に関する将来的な動向等を踏まえ、来るべき高齢化のピーク時に対応できる体制の構築を目指し、高齢者に対する保健・福祉、介護等に関する施策の方向性や取組を定める「小山町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画」の策定を進めています。</p>
-------	---

小山町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画（案）への御意見と町の考え方

該当箇所	意見の概要	町の考え方	反映結果
43 ページ 54 ページ	<p>43 ページ施策の柱 1-3②生涯学習の推進と、54 ページ施策の柱 1-6①世代間交流・地域間交流事業について、生涯学習課が得意とするような部分を課を超えて具体的に協力ができるような計画があると効率的なのではと。自発的に学習できないことで、社会から孤立し社会の弱者になることを防ぐためには長期にわたるアプローチが必要であり、福祉の支援が必要となる前からの関りが大切だと感じた。</p>	<p>近年、高齢者のニーズが多様化してきており、生涯学習への意欲も高まりを見せています。</p> <p>生涯学習課や文化連盟等と連携し、生涯学習・生涯スポーツの推進を図るとともに、活動を通して多世代が交流できる機会の拡大を検討していきたいと考えます。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、第2章第3節において、これまで社会参加への取り組みが十分に行われてこなかったこと、今後は自主的な健康づくりやフレイル予防を促進していくことを記述することとします。</p>
56 ページ	<p>②在宅療養や看取りに関する普及啓発について</p> <p>現在小山町内の医療機関では積極的に在宅での看取りを引き受けてくださる先生がいなく、入院のまま亡くなる方もいらっしゃるそうです。御殿場市内には訪問診療・在宅看取りを行っている医療機関もあるが、小山までは遠いとの話があり、地元小山町の医療機関の協力が必須と思います。また運転をしない医師もいるため、タクシーを利用したくても深夜にはタクシーが動いていないという状況です。</p>	<p>医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療や介護の仕組みづくりや啓発、必要なサービスの確保を課題として検討していきたいと考えます。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、第2章第3節において、小山町では在宅医療が進んでいないこと、今後は施設重視から在宅重視への流れをより一層加速させ、高齢となっても住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、様々な施策を展開していくことを記述することとします。</p>